

会議録	
名称	平成30年度3月富士見市図書館協議会
開催日時	平成31年3月9日(土) 午前10時00分～12時00分
場所	中央図書館レセプションルーム
出席者	<p>○図書館協議会委員 渡辺志津子委員長 小森和雄委員(職務代理者) 木村多喜雄委員 佐藤千枝子委員 渋谷八重子委員 長ヶ原美博委員 本間雄一委員 山崎美晴委員</p> <p>○教育委員会生涯学習課 鳥海課長 松田副課長 古川主査</p> <p>○図書館 原田中央館館長 清水副館長 神山副館長 長谷川鶴瀬西分館長 下川ふじみ野分館長</p> <p>○指定管理者 紀伊國屋書店公共図書館部 宮本 青崎</p>
欠席者	関根衣都美委員、野瀬武博委員
公開・非公開	公開
傍聴	なし
次第	<p>○報告・連絡事項</p> <p><input type="checkbox"/>平成31年2月事業報告 (中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館)</p> <p><input type="checkbox"/>平成31年度事業計画について</p> <p><input type="checkbox"/>第3次富士見市子ども読書活動推進計画における学校図書館への提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館より(学校司書研修会聞取り調査報告) ・協議委員より <p><input type="checkbox"/>その他</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館協議会3月定例会次第 ・平成31年2月事業報告 (中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館) ・図書館との連携事業のご案内 ・平成31年度富士見市立図書館運営方針

	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度2月19日学校司書研修会意見取りまとめ 及び 3月7日学校・図書館・教育委員会連絡会議記録 ・小学校の図書館（山崎委員） ・学校図書館や読書活動に対する意見（長ヶ原委員） ・図書館と市政資料について（小森委員） ・富士見市立図書館広報誌『さざなみだより』ほか
会議録確認	渡辺委員長
議事内容	
<p>1 開 会 神山副館長</p> <p>2 委員長あいさつ （渡辺志津子委員長）</p> <p>3 各館からの事業報告</p> <p><中央図書館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき報告。特に音訳者初級講座受講生の勉強会、学校司書研修会・除籍資料頒布会、読み聞かせ初級講座、読み聞かせスキルアップ講座について説明。 <p><鶴瀬西分館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき報告。特にプチ企画展示、鶴瀬小学校入学説明会、わらべうた講座、地域連携、今後の予定について説明。 <p><ふじみ野分館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき報告。特に慶櫻ふじみ保育園への出張おはなし会、絵本に出てくるお菓子作り、児童参加の壁面折り紙、学校連携について説明。 <p>【質疑応答】</p> <p> 委員：除籍資料の頒布会は、学校司書と先生に持ち帰ってもらったということか。</p> <p> 図書館：学校司書が選んで先生が取りに来るケースもあった。</p> <p> 委員：読み聞かせの講習をもっとやって欲しいとの意見があるが、謝金も払うとして、増やすことは可能か。</p> <p> 図書館：講師を招くとなると頻度を増やすのは難しいが、図書館職員が教える、相談にのることは可能だと思う。</p> <p> 委員：回想レクリエーションとはどういった内容か。</p> <p> 図書館：読売新聞で出している、昔のニュース映像のDVDが先日発売になった。それを見ながら、当時の思い出などについて、クイズを出しながら語り合うことで、認知症予防になると言われている。</p> <p> 委員：お年寄り対象と言うことか。</p> <p> 図書館：今回は、65歳以上が対象である。</p>	

委員：フェイスブックかツイッターで、映画会の上映の内容を変えたことがあったと思うが、どんな事情があったのか。

図書館：新井浩文が出演していたために差し替えた。試写もしたが、少女と同じ部屋にいるシーンもあり、中央館に確認し今回の措置となった。

図書館：貸出や資料提供であれば問題ないが、上映会となると配慮が必要と考え、今回の判断に至った。

委員：鶴瀬西分館以外に聞きたい。つるせ台ひろば食事会とあるが、他の館で、こういう事はやっているか。

図書館：中央では、今のところやっていない。

図書館：ふじみ野でもやっていない。

委員：つるせ台ひろばは、どこが中心にやっているのか。

図書館：地域の方。つるせ台ひろばというのは、毎月基本、第一土曜日に、小学校の多目的室や体育館を使って、昔の遊び等を地域の方が子供達に教えるものである。図書館協議会と重なることもあり、なかなか見学に行けないが、可能な限り顔を出して手伝いをしている。年度の最後ということで、食事会に参加した。

委員：声をかけてくれるのは地元の方か。

図書館：地元の町会長である。

委員：つるせ台ひろばは、地域子供教室のことか。

委員：各小学校区にあって、生涯学習課がやっている。

委員：なぜこういう事を言うかということ、地域連携は難しい。あまり無理をしない程度に、地域の方の顔を知る活動をするとうちの子どもやお年寄りとの連携が図れる。生涯学習課はこれを他に広めることは考えていないのか。

生涯学習課：市内に11ヶ所あり、図書館から遠いところは難しいが、近いところでは、連携を図れるのではないかと。

委員：生涯学習課で、少しずつ進めていく事を検討してほしい。

委員：図書館と学校との連携の話をするときに、校長先生の他に、学校司書も同席できると良い。

委員：学校司書は、週3回で半日しかいないが、日程調整をすれば可能である。

委員：内容等を伝えるのに、学校司書がいた方が良いと思う。

図書館：勝瀬小学校の校長先生との打ち合わせでは同席できなかったが、学校司書研修の際に学校司書と話をし、情報共有ができた。

委員：図書主任もいるが、学校司書さんと話せると話が早い。

- ・中央館館長より、生涯学習課作成の平成31年度図書館運営方針に沿って説明。
- ・資料の充実について。リニューアル後に利用の増えた、児童書、大型絵本、2020年のオリンピック・パラリンピックでホストタウンとして受け入れるセルビアに関連する本を収集する。
- ・高齢者サービスについては、回想サロンのDVDを購入し、鶴瀬西分館で回想レクリエーションを実施する。
- ・障がいのある方へのサービスとしては、音訳者養成講座中級を春から秋にかけて開催する。1月頃に、布絵本の勉強会を予定している。
- ・多文化サービスについては、中央図書館の外国語資料の充実を図る。ふじみ野分館では、「絵本を届ける活動」として、公益社団法人シャンティの活動を支援するワークショップを実施する。ヒップファミリークラブとも連携し、英語以外の外国語の絵本を紹介する。
- ・第2回目となるビブリオ大賞も協力校を増やして取り組んでいく。

【質疑応答】

委員：30年度の運営方針と比較してもあまり変わらない印象。セルビアとかシャンティなどを書いてはいけないのか。

図書館：運営方針には入っていないが方針に沿った具体的な実施計画については、指定管理者の業務計画には盛り込んでいる。

委員：高齢者施設への団体貸出の実績はあるのか。

図書館：2年前に職員が出張する形で、1度だけ団体貸出を行った。

委員：前年度の回顧を踏まえて、次年度の運営計画に反映させたら良いのではないか。振り返りがないと、ただ文字面だけになってしまう。

5 第3次富士見市子ども読書活動推進計画における学校図書館への提言

○学校司書研修聞き取り調査報告

- ・学校司書研修会の報告書を生涯学習課、協議委員で閲覧。
- ・学校司書研修会意見とりまとめに基づき報告。
- ・学校司書の報告書や通常の文書作成、掲示物など自宅で作成している場合がほとんど。パソコンとプリンターが必要で、インターネット環境も必要。
- ・蔵書管理や貸出の省力化等メリットが多いので、電算化もして欲しい。
- ・今の勤務時間や日数の状態で、ハードが入っても、活用できない。
- ・教育委員会と図書館との連絡会議の中で、学校教育課から、中長期的な電算化のためのパソコンの予算要求をしていくとの話があった。
- ・電算化した場合、学校間で資料を動かすため、物流もセットで考えないといけない。
- ・現状では、蔵書の確認は原簿と現物を付き合せしている。貸出数も手計算で出す等、非効率的な作業をしている。

- ・帯付きの本の装備について。学校内で帯を付けて装備することになっており、学校司書が持ち帰りで装備している。
- ・選書・除籍基準については、全国学校図書館協議会や他の自治体の基準を土台にして、学校教育課で検討していく。
- ・装備の基準についても、外注に出している仕様を取りまとめ、学校教育課で基準の作成を検討していく。統一装備にした場合、コストがどれくらい下がるか、見積もりをとるのがよいのではないか。
- ・先生や子どもたちと話す時間が取れない等、勤務時間と日数が少ないとの意見が多かった。この件に関しては、学校教育課でも以前から要望しているが、それを継続していく。
- ・各学年で図書館オリエンテーションを行うとマナーの向上に繋がる。先生方へのオリエンテーションの実施をしたら良い。
- ・来年度は、試行として図書館から遠い小中学校へ働きかけをし、徐々に広げていく。ゆくゆくは、予算措置をとってもらい継続できるように。各校の委嘱研究や学校研究で、図書館を活用してもらえるよう情報共有をする。

○小学校の図書館について（委員）

- ・資料に基づき説明。
- ・おもに、小学校と読書、小学校と校長の運営方針、大学生の考える小学校の図書室について説明。

○学校図書館や読書活動に対する意見（委員）

- ・資料に基づき説明。
- ・おもに、学校司書のフルタイム勤務、図書費の増大、市立図書館と学校教育課のさらなる連携について要望。図書館協議会にも、指導主事が出席し、情報共有するべき。また、次期の協議会では、中学校の校長に委員になってもらうことで、広い視野で話し合える。

【質疑応答】

委員：やはり物流が大切。学校間だけでなく、図書館が遠いという子どもたちのために、学校司書が図書館に依頼し、文書便のような形で、毎日細々でも読みたい本を届けられないか。不動産関係の資料を読んだが、富士見市は若い夫婦が多くいるとあった。子どもたちの成長が市の繁栄にも繋がるので、子どもたちの読みたいという芽を摘まないよう、市のほうには、少しお金をかけてもらいたい。物流を含めたネットワークにはお金がかかるが、文書作成用のパソコン導入をきっかけに、予算要求だけは続けてもらいたい。次の協議会で、箇条書きの状態で、ドラフトを出したいが、それで間に合うか。

生涯学習課：例年秋に予算要求し、年明けに固めるので、32年度であれば間に合う。

委員：ドラフトを作成し、市へ要望していく。次回までには、要望を追加・修正したものを提示したい。学校司書の報告書を見ると、毎年切実な思いでいるが、一向に進んでいないので、少しでも進められるようにしたい。来年度は、図書館協議会を平日に開催する予定なので、指導主事等にも出席してもらい、子ども読書活動推進計画での具体的な数字が実現できると良い。

委員：物流の件について。現在公民館等にも本が送られている。公民館等の方が、図書館の数より多いので、活用できるのではないか。

図書館：市内9ヶ所の公共施設へ配送している。

委員：公民館等の利用については、あまり知られていない。学校司書も知らないと思う。

委員：図書館は、小学1～2年生が1人で行ける距離が望ましい。公民館等が活用できれば、連携ができる。あるものを使うのが良い。

図書館：公共図書館で受け取れるサービスは指定管理者で行っている。どんどん需要は伸びている。

委員：特定の方が利用していて、広く知られてはいない。

図書館：子ども達にも利用してもらうには、システムも含め体制の調整も必要だ。

委員：公共図書館から公共施設への配送に、学校図書館も組み込みたい。文書便などはないのか。

生涯学習課：定期的に回っているのは、現在はない。

委員：学校を回っているものは、週1回はある。

委員：本を送ることは可能か。

委員：必ず入れられるとは限らない。数冊であれば入るのではないか。

委員：同じ教科書を使用しているので、課題学習用に1セット準備して、巡回で使用する事が出来るのではないか。

委員：大学生の調査は、何人くらいに聞いたものか。また、どんな層の人か。

委員：約10名。教員志望の人である。

委員：中学校が2日の配置では厳しい。

生涯学習課：私が担当なら、すぐに増やす。学校教育課でも図書の購入費を予算要求しているが、学校教育全体の中で、優先順位が低い。協議会からの提言、市民の方からの声ということで、予算要求の際にも有難い後ろ盾になる。

委員：学校司書が帯をつけて装備をする学校があるというが、外注するといくらかかるのか。

図書館：帯を付けるなど、基本的な装備は、値引きも含めてサービスでやっている。帯を付ける付けないは、お客様の指示通りにやっている。統一

装備にすることで、コストが下がりその分若干本を購入できるかも知れない。

6 その他

○図書館と市制資料について（委員）

資料に基づき説明。主に、郷土資料・映像資料の保存について説明。

- ・図書館、資料館等に様々な所に映像資料があるので、目録化をしたのちデータベース化して、どこに何があるかわかるようにする。
- ・市制50周年に向けて、資料を収集している。
- ・映像資料の保存の必要性。

【質疑応答】

委員：映像資料の保存に関しても、市制50周年に向けて協議会からの提言に盛り込みたい。

生涯学習課：提言内容としては、行政から業者に頼むということか。

委員：まず、費用がかかるということ。公民館・資料館・図書館にどんなものがあるか調べ、優先順位をつけ、貴重なものは業者に発注して処理する。

図書館：8ミリやVHSなどを、業者を使ってデジタル化してもあまり高いものではない。

委員：クラウド化して、どこからでも見られるようにするのが良い。

図書館：国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスを来年度中に実施するにあたり準備を進めている。

○次回は5月11日（土）に開催

○協議会からの提言に追加資料、意見等があれば、4月26日（金）までに中央図書館へ連絡する。

7 閉会（渡辺委員長）